

## 憲法9条を擁護することを求める意見書（案）

岸田首相は、中国や朝鮮を念頭に、違憲の「敵基地攻撃能力の保有」を唱え、歴代首相がかろうじて維持してきたGDP比1%以内の防衛費の状況を放棄して2%以上を主張するなど、米国をはじめ、欧米諸国との軍事同盟を強化し、「戦争する国」づくりを進め、アジアの緊張を高めています。

NHKが8月初めに行った世論調査では、憲法改正には賛成が上回ったものの、憲法9条の改正の是非については、「改正する必要があると思う」と答えた人は28%、「改正する必要はないと思う」が41%で、憲法改正の是非とは逆に、「改正の必要がない」と答える人の方が多くなりました。理由は、「平和憲法として最も大事な条文だから」が66%、「海外での武力行使に歯止めがなくなるから」が16%などです。多くの国民は、改憲ではなく、命と暮らしを守る政治を願い、軍事費よりもコロナ対策を願っています。

よって、政府におかれましては、憲法9条を擁護するよう強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年12月 日

春日部市議会

衆議院議長 様  
参議院議長 様  
内閣総理大臣 様  
外務大臣 様  
防衛大臣 様